



無駄なものなんて何もない！

新学期が始まり、ひと月が経ちました。生徒たちも最初は緊張した面持ちでしたが、今では新しい環境にも少しずつ慣れてきたのか、笑顔も多く見られ、明るく挨拶してくれる子どもたちが増えてきたように感じます。

さて、「目には青葉 山ほととぎす 初鯉」こんな俳句が浮かんでくるような、鮮やかな緑が美しい季節となりました。大型連休でもあります。

天気良ければ、気分転換に新緑の山や森にハイキングでも出かけたくなるような今日この頃です。私も自然が大好きで、ハケ岳野外体験教室の活動も含めて、森の中を歩く機会に恵まれました。そんな時によく出会ったのが、倒れて朽ち果てている樹木です。歩くには邪魔で、なければいいのと思うのですが、どうやらそうではないようです。開高健という小説家が、次のような文章を書いています。



風倒木（ナースログ）

森を歩いているとよくわかるんですけど、斧が入ったことがない、人が入ったことがない森、というのがそこらじゅうにいっぱいある。それで土が露出していないで、シダやらなんかに覆われていますが、草とも苔ともつかないもので森の床全部が覆われている。

それから風倒木が倒れてたおれっぱなしになっている。それが実は無駄なように見えて実に貴重な資源なのであって、風倒木がたおれっぱなしになっていると、そこに苔が生える、微生物が繁殖する、バクテリアが繁殖する、土を豊かにする、小虫がやってくる。その小虫を捕まえるためにネズミやなんかがやってくる、そのネズミを食べるためにまたワシやなんかの鳥もやってくる、森にお湿りを与える、乾かない。そのことが河を豊かにする。ともう全てがつながりあっている。

だからあの風倒木のことを、森を看護しているんだ、看護婦の役割をしているんだ。というのでナースログ（nurse-log）というんですけども、自然に無駄なものは何もない、というひとつの例なんです。

そうすると人間にとってナースログとは何でしょうか？無駄なように見えるけれども実は大変に貴重なもの、というものも人間にはたくさんあるんじゃないか？

それぞれの人間にとってのナースログとは何か？無駄をおそれてはいけないし、無駄を軽蔑してはいけない。何が無駄で何が無駄でないかはわからないんだ。

ここがひとつの目の付け所ですね、これは大事なことですよ。

無駄なこととしてと思うことはないんであって、いつかどこかでまた別のかたちで甦っているのかもしれないんだ。



開高健『河は眠らない』より

私もこれまで行動の優先順位をつけるにあたり、今の自分に必要かどうか目先のことばかり考えてやるべきことを選択していました。その結果、自分では幅のせまい人間になってしまったのではないかと反省しています。しかし、今から15年以上前にこの文章に出会ってからはこれまでの考え方を改め、少しずつではありますが、一見無駄に思えることでもやってみようとしたところ、その後の生活で役に立つことが分かってきました。以前に読んだ本の知識や直接関係ないと思ってやっていた業務で体得したスキルがその後の仕事や生活に役立ったりなど。子どもたち

にも「無駄なものなんて何もない！」そんな気持ちで前向きに何事にもチャレンジしてもらえたらと願っています。

子どもにとって充実した部活動とするために

5/2(火)に部活動保護者会を開催いたします。本校でも部活動を毎日の学校生活の中で楽しみにしている生徒は数多くいます。1年生も仮入部期間が終わり、本入部となりました。1年生にとってしばらくは、放課後2時間ほどの練習は、体力的にも厳しいと思いますので、体調の管理にご留意ください。今後も部活動基本方針に基づき、子どもたちが目標に向かって意欲的な活動ができるような指導を心がけて参ります。



しかし、その部活動も現在、教員の長時間勤務や深刻な少子化の進展に伴い、望ましい部活動を持続していくためには新たな制度の構築が求められています。そこで、国は部活動の指導等に意欲を有する地域人材等の協力を得て、今年度から段階的な地域移行を進めています。過日、保護者の皆様にも市教育委員会からの文書を配付させていただきましたが、本市においても、今年度から3年間にわたってモデル実証を積み重ねながら研究を行い、休日の部活動の地域連携・地域移行に向けた環境整備に取り組んでいます。(本校の陸上競技部がモデル実証の1つに該当しています。)どのような形になっても部活動の教育的意義は大きく、技術面だけでなく大人になるための様々な資質・能力を体得することができるものと考えます。今後も保護者の皆様のご理解・ご協力、何卒、よろしくお願いいたします。

家庭訪問、ご協力ありがとうございました



4/24(月)から5日間、家庭訪問が行われました。保護者の皆様には、ご多用の中、ご協力いただき、心より感謝いたします。おかげさまで有意義な話し合いができたようです。家庭訪問の主な目的は、①緊急時に備え、担任が家の場所を確認すること、②ご家庭の教育方針や生徒の家庭での様子を把握すること、③地域の環境を知ることです。普段子どもたちが生活している家庭や地域を知るとは生徒理解においても大変重要です。今回、訪問によって得られた地域の情報等も全職員で共有するよう努めて参ります。ありがとうございました。

「ひとりにになれる」を目指して～8組「選ぶの時間」～

先日、8組の教室をのぞくと、おしゃべりの声も聞こえず、生徒一人ひとりが黙々と机の上で学習や作業に取り組んでいる姿が見られました。その集中力はとても見事で、自分の力で課題解決のために、あるいは作業の完成を目指して自学自習に取り組んでいました。8組の先生にお話を聞くと、総合的な学習の時間に『選ぶの時間』と称して、各自で「本を読む」「絵を描く」「ぬりえをする」「折り紙をする」「パズルをする」「勉強をする」の6つの中から自ら選択して1時間続けて取り組むということでした。正に「ひとりにになれる」(自立・自律)ための時間であると思いました。

体育祭のブロック決まる!

5/27(土)に第42回体育祭が実施されます。今年度はコロナ禍以前のように全学年の保護者の方に当日参観していただく予定です。詳細につきましては、過日配付した別紙プリントをご覧ください。なお、ブロックが右の表のとおり決定しました。当日、子どもたちの雄姿をご期待ください。

黄	34	24	15
青	36	21	13
橙	31	26	12
赤	33	22	11
桃	32	23	16
緑	35	25	14

「けやきの会」が『優良PTA』として表彰!

本校の全保護者と全教職員、及びけやきの会コーラス会員で構成されている「けやきの会」が神奈川県教育委員会から『優良PTA』として今年度表彰されることになりました。体育祭や合唱祭等の学校行事におけるサポートはもちろん、コロナ禍であっても毎年欠かさず、「標準服リユース」を行い、その売上金を生徒会へ寄付するなど、長年にわたる生徒の学校生活への支援活動が認められたものです。大変名誉なことであり、学校としても、これまでの「けやきの会」本部役員の皆様をはじめ、活動に携わってくださった全ての方に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

